

## 令和5年度第1回学校運営協議会を開催しました

5月31日（水）に、令和5年度第1回学校運営協議会を開催しました。

今回は、第十小学校学校運営協議会委員、第十小学校教頭、館林市教育委員会学校教育課の指導係長・指導主事、東部教育事務所生涯学習係の社会教育主事が出席し、昼休みに行われた、1年生から6年生が縦割り班で一緒に遊ぶ「たてわり活動」の様子を参観し、その後で、学校運営協議会を行いました。



「たてわり活動」を参観する委員

### 令和5年度第十小学校学校運営協議会委員

近藤区長      西公民館長      館林市国際交流協会前会長      学校支援ボランティア  
六郷地区青少推会長      民生委員      主任児童委員      西公民館活動推進委員（2名）  
西幼稚園長      第三中学校長      多々良中学校長      第十小学校PTA会長  
第十小学校長      コミュニティ・スクールディレクター

### 学校運営協議会の内容

- (1) 委嘱状交付
- (2) 教育委員会あいさつ
- (3) 学校運営協議会規則の確認
- (4) 学校長あいさつ
- (5) 会長、副会長選出
- (6) 令和5年度第十小学校の学校経営方針の説明、質疑、承認
- (7) 令和5年度第十小学校学校運営協議会の取組についての協議
- (8) 学校関係者評価についての説明
- (9) 年間行事計画についての説明

## 質疑・協議での意見

- いじめ防止については学校で方針を作成し、それに則って進めている。子ども同士の望ましい人間関係の育成がいじめ防止になる。自分自身が自分らしくということを中心にしている。トラブルを生みやすい言葉遣いを避けるようにもしている。些細なことからいじめになることもあるので、生活アンケートを毎月行って、早期発見に努めている。
- 十小では挨拶にも力を入れている。縦割り班で順番に挨拶運動をしている。担当になった班が、朝、児童玄関に立って、登校してくる友達を気持ちよく迎えようという取組をしている。
- 学校には多様なリクエストが寄せられる。職員が組織的に対応するようにしているが、学校だけで解決することが難しい課題もあるので、地域の皆様の力をお借りできるとありがたい。
- 西公民館・第十小学校区防災町づくり委員会で、大地震が発生した時に十小まで避難する訓練を毎年行って、今年は大谷町区が代表になっている。今年も十小の学校公開日に合わせて避難訓練を行う予定である。防災町づくり委員会の委員さんや区長さんや防災に関わっている皆さんも加わって避難訓練を行う計画を立てている。具体的な進め方についてはこれから相談していく。
- 十小の先生方がコミュニティー・スクールというものに対してどのように考えているのか知りたい。学校運営協議会委員が先生方と話し合っ、先生方が考えていることを知る機会を持てたらいいと思う。
- 職員の学校評価では、地域のお力をお借りすることが多く、大変ありがたく感じているという意見が多い。十小では体験的な活動を望み、そこから多くのことを吸収しようとする児童が多く、それを教員は全力で支えようとしている。見守り隊、花壇作り、読み聞かせ、日本語学級、学年行事への支援など地域の方や保護者のボランティアがたくさんいて、教員はこのような関係を強く推進していきたいという思いを持っている。
- 学校からボランティアがほしいという発信はするが、学校側から地域へ協力に行く場面は少ない。相互であるべきと考えている。
- 地域と共にある学校、学校を核とした地域づくりがコミュニティー・スクールの趣旨で、学校と地域がウィンウィンの関係であるべき。学校の目的と地域の目的が合致すること。そのために、教職員と委員が情報交換をして、思いを共有できたらいい。学校の教育活動で、地域の方々の専門性を生かした体験的な学びができたらいい。
- 学校と地域が互いの存在を必要とする関係になれるようにしたいという意見を学校職員にしっかり伝えていきたい。直接顔を合わせて意見交換ができる場を作っていきたい。



学校運営協議会の様子